





て	方	に	交	由	の	の	私	藤	福
い	に	あ	ど	に	方	々	は	崎	祉
る	飛	ま	う	動	仕	な	初	町	體
方	ば	り	る	か	事	と	め	立	驗
の	し	触	こ	し	に	交	じ	明	德
こ	て	れ	と	た	は	流	ー	徳	中
と	あ	て	が	く	風	し	を	感	學
も	げ	い	だ	し	船	感	訪	養	じ
し	た	な	き	。お	バ	じ	間	護	た
、	リ	い	ま	年	ま	改	し	老	二
か	、	お	る	寄	す	め	て	人	年
り	け	年	た	が	お	と	福	月	と
視	が	寄	。	考	体	た	社	羽	
野	を	リ	風	え	を	。	関	月	
に	し	の	船	々	自	ゲ	係		
							り		

助	は	イ	が	ス	の	ま	い	老	に	仕	回	入
を	一	か	か	で	を	ら	を	人	、	事	の	れ
必	人	や	り	食	確	な	し	木	一	層	交	て
要	で	入	ま	事	認	い	た	ム	層	福	流	交
と	事	浴	し	を	し	よ	二	へ	福	社	通	流
し	る	な	た	進	、	う	と	行	社	の	し	て
ま	の	ど	。	め	そ	に	が	祖	何	度	通	き
す	が	も	食	る	の	し	あ	父	度	か	と	た
。	難	お	事	の	人	つ	り	や	か	な	思	と
そ	し	年	だ	は	に	か	ま	曾	何	な	将	思
の	く	寄	け	と	合	り	す	祖	度	な	来	い
補	な	り	て	。	飲	。	。	母	か	と	福	予
助	リ	の	も	た	喉	。	。	の	い	の	社	す
を	一	方	く	べ	に	。	。	手	い	と	關	。
す	補	々	ト	。	詰	。	。	伝	。	同	係	今

に	の	と	介	歳	職	事	で	で	る
も	仕	言	護	が	員	に	、	す。	た
チ	事	わ	職	一	の	村	若	た	め
ガ	は	れ	人	番	年	し	今	い	に
テ	大	が	が	多	齢	魅	の	人	夕
イ	変	約	。	く	層	力	若	た	高
ア	で	34	ま	20	の	を	い	ち	齢
ナ	す	万	た	歳	割	感	く	の	者
イ	メ	人	2	か	合	じ	な	さ	増
一	世	ほ	少	ら	は	る	く	ボ	え
三	間	ど	な	30	歳	人	な	ト	程
を	一	不	く	か	か	が	ど	は	度
持	般	足	な	29	歳	少	ま	よ	体
た	的	年	?	歳	に	な	し	リ	力
に	看	に	て	の	介	く	た	が	が
	護	す	い	若	護	社	は	必	要
	る	る	い	39	の	の	し	中	

な	い	タ	鬼	ろ	山	側	や	が	め
ど	う	で	な	な	る	側	り	嫌	て
を	方	自	鬼	い	の	の	る	に	い
人	は	ら	い	が	か	が	大	た	ま
に	少	の	た	あ	大	だ	変	理	す。
頼	な	意	。	る	變	け	な	由	し
ラ	い	患	突	の	な	が	も	中	か
な	と	て	際	で	年	た	れ	で	か
く	患	施	に	の	寄	け	る	介	し
て	ま	設	お	は	り	が	の	護	、
は	す	に	お	な	方	で	は	介	介
い	排	入	年	な	夕	は	な	護	護
な	泄	た	寄	い	も	な	く	な	職
く	と	の	り	か	介	く	介	自	を

な	り	介	護
気	持	ち	さ
持	ち	れ	る
情	を	側	側
を	抱	も	、
抱	え	申	し
え	て	さ	く
て	い	ん	く
い	ろ	の	の
る	は	感	感
は	す	な	な
す	で	た	た
で	す	く	く
す	。	さ	さ
。	も	ん	ん
も	し	の	の
し	私	感	い

なり介護されれる側も、申し訳ない  
 気持ちや屈辱感なほどにたくさんの方の仕事についたら、もし私も私の感  
 情を抱えていたら、私はどうです。  
 が将来介護系の仕事についたら、私はどうです。  
 が年寄りの方の気持ちを理解しなりな  
 ら、私はどうです。  
 がら温かく寄り添えるようになりな  
 に年寄りの方の気持ちを理解しなりな  
 たなと思いましに。私はどうです。  
 たなと想いながら温かく寄り添え  
 るよ。



福祉への関心

藤崎町立明徳中学校三年

齋藤光瑛

僕は、先日福祉体験学習があり、そこでも福社に關する色々な知識を得た。僕は、土ん坊じーと申しまして王ました。僕は、土ん坊じーと申しまして王ました。僕は、土ん坊じーと申しまして王ました。僕は、土ん坊じーと申しまして王ました。僕は、土ん坊じーと申しまして王ました。僕は、土ん坊じーと申しまして王ました。僕は、土ん坊じーと申しまして王ました。僕は、土ん坊じーと申しまして王ました。僕は、土ん坊じーと申しまして王ました。僕は、土ん坊じーと申しまして王ました。僕は、土ん坊じーと申しまして王ました。僕は、土ん坊じーと申しまして王ました。僕は、土ん坊じーと申しまして王ました。僕は、土ん坊じーと申しまして王ました。僕は、土ん坊じーと申しまして王ました。僕は、土ん坊じーと申しまして王ました。僕は、土ん坊じーと申しまして王ました。

所が安全に配慮せねて、色々な場所にスローバー設けられた。施設の設備だけではなく、職員の方々の配慮もとてもすこいと感じました。これからも安全に配慮せねて、色々な場所にスローバー設けられると、職員の方々の配慮もとてもすこいと感じました。これからも安全に配慮せねて、色々な場所にスローバー設けられると、職員の方々の配慮もとてもすこいと感じました。これからも安全に配慮せねて、色々な場所にスローバー設けられると、職員の方々の配慮もとてもすこいと感じました。これからも安全に配慮せねて、色々な場所にスローバー設けられると、職員の方々の配慮もとてもすこいと感じました。これからも安全に配慮せねて、色々な場所にスローバー設けられると、職員の方々の配慮もとてもすこいと感じました。これからも安全に配慮せねて、色々な場所にスローバー設けられると、職員の方々の配慮もとてもすこいと感じました。これからも安全に配慮せねて、色々な場所にスローバー設けられると、職員の方々の配慮もとてもすこいと感じました。これからも安全に配慮せねて、色々な場所にスローバー設けられると、職員の方々の配慮もとてもすこいと感じました。これからも安全に配慮せねて、色々な場所にスローバー設けられると、職員の方々の配慮もとてもすこいと感じました。これからも安全に配慮せねて、色々な場所にスローバー設けられると、職員の方々の配慮もとてもすこいと感じました。これからも安全に配慮せねて、色々な場所にスローバー設けられると、職員の方々の配慮もとてもすこいと感じました。これからも安全に配慮せねて、色々な場所にスローバー設けられると、職員の方々の配慮もとてもすこいと感じました。これからも安全に配慮せねて、色々な場所にスローバー設けられると、職員の方々の配慮もとてもすこいと感じました。

お年寄の方は、火の報が危ないで、電池式のロウソクや線香などを使っていました。細かに所まで、注意を払っていました。

終わり、お年寄の方々と施設内の見学者が、体験をしていました。施設内の方々と一緒に、ふれあいのふ木で、お年寄の方々と一緒に活動していました。テープルを回して、手をつなぎながら、一緒に活動していました。最後は、手をつなぎながら、一緒に活動していました。

ふくらはぎと腰の筋肉を鍛えました。筋肉を鍛えることで、腰痛が軽減すると言われています。また、筋肉を鍛えることで、腰痛が改善されることがあります。筋肉を鍛えることで、腰痛が改善されることがあります。

お年寄の方は、火の報が危ないで、電池式のロウソクや線香などを使っていました。細かに所まで、注意を払っていました。

終わり、お年寄の方々と一緒に、施設内の見学者が、体験をしていました。施設内の方々と一緒に、ふれあいのふ木で、お年寄の方々と一緒に活動していました。テープルを回して、手をつなぎながら、一緒に活動していました。最後は、手をつなぎながら、一緒に活動していました。

ふくらはぎと腰の筋肉を鍛えました。筋肉を鍛えることで、腰痛が軽減すると言われています。また、筋肉を鍛えることで、腰痛が改善されることがあります。筋肉を鍛えることで、腰痛が改善されることがあります。

を歌<sup>ハ</sup>まし<sup>タ</sup>。歌<sup>ハ</sup>終<sup>エ</sup>たと<sup>モ</sup>に  
お年寄<sup>リ</sup>の方々が笑顔で拍手をし  
てくれて、今回<sup>ハ</sup>の体験は自分自  
身の成長にも大きく影響したもの  
だったと思<sup>ハ</sup>ます。近年問題となつて<sup>る</sup>  
化です<sup>が</sup>、一番大切在<sup>る</sup>少子高齢  
化で<sup>す</sup>人<sup>た</sup>ちの高齢者へのサ<sup>ポ</sup>リ<sup>ト</sup>だ<sup>い</sup>  
り一化なども若<sup>い</sup>人<sup>た</sup>ちが<sup>行</sup>って<sup>て</sup>  
にも<sup>で</sup>生き<sup>る</sup>ことが<sup>あ</sup>ることを<sup>思</sup>う人<sup>た</sup>て<sup>て</sup>  
と努力<sup>す</sup>から、自<sup>由</sup>で<sup>き</sup>ることを<sup>思</sup>うと<sup>考</sup>え<sup>る</sup>  
で必要<sup>な</sup>こと<sup>だ</sup>と思<sup>ハ</sup>ます。<sup>。</sup>

設<sup>ハ</sup>に<sup>お</sup>世話<sup>に</sup>存<sup>る</sup>ニ<sup>と</sup>が<sup>あ</sup>るか<sup>も</sup>、  
の方々へ<sup>の</sup>感謝<sup>の</sup>気持ちを忘れず、  
しれませんが、そのと生<sup>は</sup>ば、職員<sup>も</sup>施<sup>ハ</sup>  
に、生活<sup>し</sup>た<sup>い</sup>と<sup>思</sup>う。今回<sup>の</sup>体験を通<sup>じ</sup>て、  
から<sup>の</sup>生活<sup>で</sup>生<sup>か</sup>し<sup>た</sup>い<sup>と</sup>を忘<sup>れ</sup>ず、<sup>に</sup>学<sup>ん</sup>だ<sup>い</sup>  
す。とや感じ<sup>た</sup>ニ<sup>と</sup>を忘<sup>れ</sup>ず、<sup>に</sup>二<sup>れ</sup>ま<sup>い</sup>  
と<sup>思</sup>う。

体験入学で学人たこと

藤崎町立明徳中学校

3年

高木絹子

は、二つあります。

一つ目は、年をとるにつれて、耳か聞えにくくなったり、手先が

思うよラに動かなくなったり、いたり、

手く物事を話せなくなりました。

普段、友達や先生方と話す時の声で話したら、何を言って

いた時が何回かあります。

いののかわからぬといふ顔をして

いました。

また、私の班でカルタと福笑い

をやりましたが、パーツが上手く

つかわず、大きめのものでや」と

できるような感じでした。しかし、

私はや友達が元気よく挨拶をする

ほほえみながら、挨拶を返してくれました。

私は、寝つきの悪いときは、本当

し笑顔になつてくれた時は、本

に嬉しかったです。

二つ目は、お年寄りに使つた

の人が、お年寄りの方の介護

話し方です。もちろん、敬語も使

つて、いるのですが、○○はどちらか

などとか、〇〇でいいかな」とか

などとかくるじくない言い方で

また、話す時、顔おもに首あた

りで話していて、耳が聞こえにく  
いから、やつてりるのかなと感じ  
ました。だから、私は、できるだ  
け大きい声で、話をしたり、説明し  
たりしました。  
この二つを通して、お年寄の人  
に対する気配りの大切さを知りまし  
た。  
また、福祉体験学習で、特に力  
を入れたことは、物を渡すとき  
は、きっと言ふたことです。施設  
の人と同じようにしてみると、こ  
れをやらなかつた時よりも、し  
かし、

かりと掴んでくれました。そして、  
リアクションをとると、どうな  
時より、周りの空気が和んで、と  
てもほのぼのしました。  
そして、何事でも、話がはずんで、感  
じた方が、話がはずんで、感  
り上がったとしても、笑顔で接し  
てとても楽しかったです。  
それと、福祉体験学習をする前  
より成長したことがあります。  
それは、コミュニケーション能力が  
高くなく、たることです。そのおかげ  
で、前よりも話すことできました。そのおかげ  
し方などがわかつてきました。  
また、大勢の前で、入ビーチや、  
何かの発表も、動じなくなりまし

た。  
このことから、この体験学習を  
通して、笑顔、気配りの大切さ、  
コミュニケーション能力の向上を  
学んだり、進歩させたりすること  
ができたので、これからに、生か  
していきたいです。



リ	わ	で	た	和	ら	た	ま	リ	以	行					
し	ぐ	レ	。	は	樂	く	し	な	外	き	私		藤		
ま	ぐ	た	福	、	、	た	て	く	の	ま	は	は	崎		
し	ぐ	た	笑	か	、	ん	。	、	高	ま	今	、	町	福	
た	い	、	遊	る	遊	、	じ	、	齡	、	回	、	立	社	
遊	言	ん	昔	と	話	、	も	、	行	、	、	、	明	体	
ひ	、	、	福	と	、	、	、	、	前	、	、	、	徳	驗	
方	て	み	笑	か	か	れ	さ	い	方	自	、	、	中	中	
を	い	、	遊	、	、	、	、	、	話	分	、	、	尚	、	
説	、	、	遊	と	話	、	、	、	、	、	、	、	校	經	
明	、	、	遊	、	話	、	、	、	、	、	、	、	、	驗	
す	ひ	、	感	、	、	、	、	、	、	、	、	、	、	年	
る	?	方	感	ま	た	た	た	た	、	、	、	、	、	、	
時	く	が	じ	、	、	、	、	、	、	、	、	、	、	、	

で	ぐ	か	た	モ	、	ト	は	る	、	、	二	津	や	標
白	積	、	福	、	、	、	あ	古	、	私	、	輕	す	準
命	極	、	笑	、	、	、	ま	、	、	た	、	升	、	語
の	的	、	モ	、	、	、	、	、	、	ち	、	、	、	、
本	に	、	元	、	、	、	は	、	、	ち	、	、	、	、
当	話	、	ち	、	、	、	き	、	、	き	、	、	、	、
の	す	、	、	、	、	、	、	、	、	、	、	、	、	、
お	ニ	、	況	、	、	、	き	、	、	、	、	、	、	、
ほ	と	、	と	、	、	、	話	、	、	、	、	、	、	、
あ	か	、	石	、	、	、	す	、	、	、	、	、	、	、
ち	こ	、	、	、	、	、	、	、	、	、	、	、	、	、
や	き	、	よ	、	、	、	、	、	、	、	、	、	、	、
し	、	、	、	、	、	、	、	、	、	、	、	、	、	、
の	ま	、	レ	、	、	、	、	、	、	、	、	、	、	、
す	る	、	と	、	、	、	、	、	、	、	、	、	、	、

く	か	と	で	て		よ	で	お	ん	ま	で	た		う
こ	(ば)	よ	た	お	ル	ニ	き	が	、	レ	き	時	お	い
す	あ	二	る	お		て	め	?	お	た	て	は	ば	会
じ	ち	と	み	手	夕	か	レ	い	、	。	、	、	お	話
い	や	は	じ	玉	は	び	ん	な	い	他	半	軽	ち	才
と	ん	で	違	れ		き	た	じ	た	の	日	く	ち	子
思	た	き	、	札	普	ま	て	と	、	見	で	川	ん	二
い	ち	ま	て	を	通	し	樂	声	ん	こ	と	、	た	ヒ
ま	せ	、	と	の	た	し	を	た	、	、	、	、	ち	ガ
レ	ん	た	リ	カ		く	が	い	、	も	も	、	が	ビ
や	命	で	ま	ル		、	、	、	、	毛	、	、	兄	き
中	レ	た	レ	夕		、	、	、	、	、	、	、	談	ま
初	幸	た	か	た	と	ム	ニ	ヤ	、	、	、	、	入	し
め	が	が	札	、	違	を	と	、	、	、	、	、	言	た
く	高	、	毛	手	、	、	、	、	、	、	、	、	、	、

い	し	せ	レ	親	ば	で	、	、	今	で	お	と	や	え
た	た	き	た	せ	お	ま	ニ	心	回	た	ち	、	リ	の
、	ば	、	、	き	、	レ	の	の	、	、	、	、	、	、
こ	、	家	私	の	お	た	体	持	、	す	、	、	た	、
ま	ち	で	は	人	ん	、	駆	、	、	る	、	、	教	タ
ま	、	も	普	、	と	、	、	、	、	、	、	、	、	、
レ	、	お	段	、	話	す	体	、	、	、	、	、	、	、
、	と	ま	、	話	す	、	駆	、	、	、	、	、	、	、
、	ば	、	人	、	、	、	、	、	、	、	、	、	、	、
、	、	話	見	、	、	、	、	、	、	、	、	、	、	、
、	、	話	知	、	、	、	、	、	、	、	、	、	、	、
、	せ	、	り	か	増	云	、	、	、	、	、	、	、	、
、	せ	、	、	、	、	、	、	、	、	、	、	、	、	、
、	よ	、	、	、	、	、	、	、	、	、	、	、	、	、
、	、	、	、	、	、	、	、	、	、	、	、	、	、	、

一	大	と	せ	子	川	と	る	ん	行	せ	ま	思	?	
二	单	思	て	の	ま	は	た	け	?	ん	せ	い	一	言
三	進	古	古	レ	レ	は	十	自	?	老	び	ま	キ	一
四	ん	手	レ	?	古	ト	行	ま	ト	木	く	す	シ	言
五	ビ"	レ	ビ"	?	の	レ	金	び	ト	モ	セ	セ	フ	福
六	!!	モ	モ	?	部	モ	レ	ト	モ	モ	セ	モ	ト	社
七	走	ニ	ヤ	?	ヤ	モ	?	ん	!	モ	セ	人	ハ	人
八		れ	一	れ	事	レ	自	ハ	ハ	モ	セ	ニ	ハ	は
九	就	ガ	ト	?	を	モ	分	介	ハ	老	セ	の	ト	言
十	職	ハ	ハ	ニ	ヤ	?	ビ	護	ハ	ト	カ	体	カ	く
十一	業	す	一	レ	ヤ	?	ビ	セ	タ	ハ	セ	麻	ハ	ハ
十二	も	高	レ	?	モ	?	モ	モ	モ	モ	ガ	モ	モ	モ
十三	校	校	士	ヤ	モ	?	モ	?	モ	モ	セ	イ	ト	ト
十四	?	?	?	?	?	?	?	?	?	?	?	?	?	?



メ	と
ニ	リ
三	二
四	二
五	モ
六	モ
七	モ
八	モ
九	モ
十	モ
十一	モ
十二	モ
十三	モ
十四	モ